

振興テーマ	施策(事業)	実績	現状	目標
		平成26(2014)年度	令和元(2019)年度	令和6(2024)年度
元気あふれる 「ひと」づくり	①新規就農者の数 (H17からの延べ数)	43人	62人	83人
	②認定農業者の数	221経営体	212経営体	270経営体
	③農業生産法人数(集落型)	34法人	45法人	50法人
	④認定農業者・集落法人等が管理 する農用地の面積割合	25.2%	31.6%	50%
魅力あふれる 「もの」づくり	①エコファーマーの数	67人	69人	100人
	②あづま蔓頭数・飼養割合	360頭・25.8%	370頭・27.2%	600頭・33.3%
	③比婆牛認証頭数	49頭	241頭	380頭
	④飼料用稲の生産面積	48.8ha	172.8ha	250ha
	⑤飼料用米の生産面積	0.0ha	45.5ha	170ha
	⑥市内小中学校の学校給食における 庄原産野菜食品数使用割合	18.5%	22.2%	27.0%
	⑦和牛導入法人数	8法人	11法人	15法人
活力あふれる 「むら」づくり	①耕作放棄地面積	57.9ha	60.4ha	50ha
	②鳥獣被害面積	61.7ha	26.65ha	26ha
	③中山間地域等直接支払制度 取り組み可能地実施割合	86.6%	83.14%	90%
	④主要な市内産直市売上金額 (単年度)	6.1億円	7.7億円	8.0億円
	⑤農家民泊の登録農家数	112戸	175戸	215戸



### 第2期庄原市農業振興計画 概要版

発行：庄原市 農業振興課  
〒727-8501 広島県庄原市中本町一丁目10番1号  
TEL 0824-73-1131 FAX 0824-72-3322



# 第2期 庄原市農業振興計画 概要版

農業が支える定住社会の構築  
～次代につなぐ輝く農業～

平成28(2016)年度～令和7(2025)年度

広島県庄原市

## 1 策定の趣旨と計画の位置づけ

本市は、平成28(2016)年3月に策定した「第2期庄原市農業振興計画」に基づき、農業振興施策を進めてきました。

策定から5年が経過し、国内外の情勢変化や国の新たな施策等を踏まえ、現在の基本方針、基本目標を踏まえつつ、より効果的な施策を展開するため、本計画の中間見直しを行うこととしました。

本計画は、本市の関連計画を始め、国・県の指針や法律等に基づいた各種計画との整合性を図る中で、農業者の意見や庄原市農業振興対策協議会での協議を重ね策定したものであり、更なる発展に向けた施策目標を示す基本指針となるものです。

## 2 計画の構成と期間

本計画は、基本事項、基本方針、基本計画、推進計画で構成します。

### 【基本事項】

計画の趣旨や対象期間、社会背景、本市の現状、第1期計画の検証結果(アンケートによる農家の声・実績・成果・課題)など、基本的な事項を整理しています。

### 【基本方針】

農業振興の基本方針や農業分野のめざす姿を掲げ、それを実現するための振興テーマと振興目標を整理しています。

### 【基本計画】

基本方針を実現するための具体的な施策や目標を振興テーマ・振興目標ごとに整理しています。

### 【推進計画】

基本方針や基本計画の具体的な施策等の方向に沿いつつ、今後実施する具体的な取り組みの概要を整理しています。

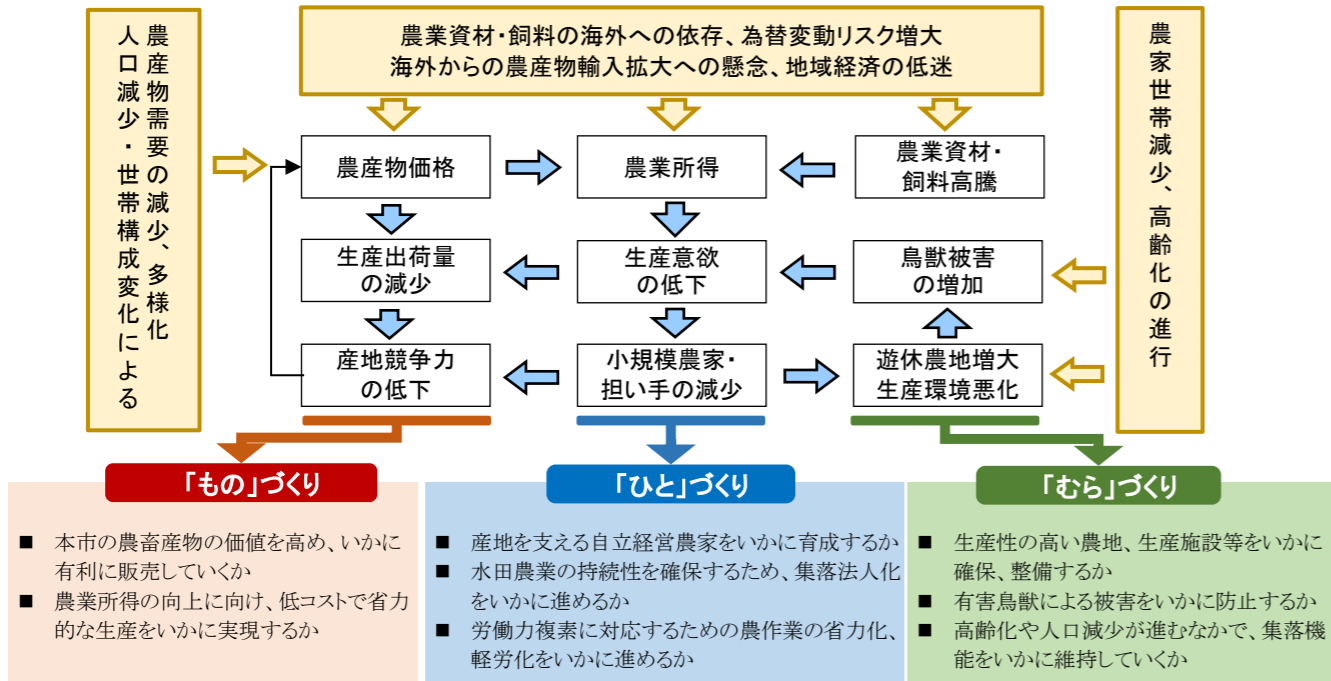


本計画は、平成28(2016)年度から令和7(2025)年度までの10年間の計画としています。このたび、農業農村を取り巻く内外の情勢変化を踏まえ、策定5年目の中間見直しを行います。

### 3 本市農業の総括的な課題

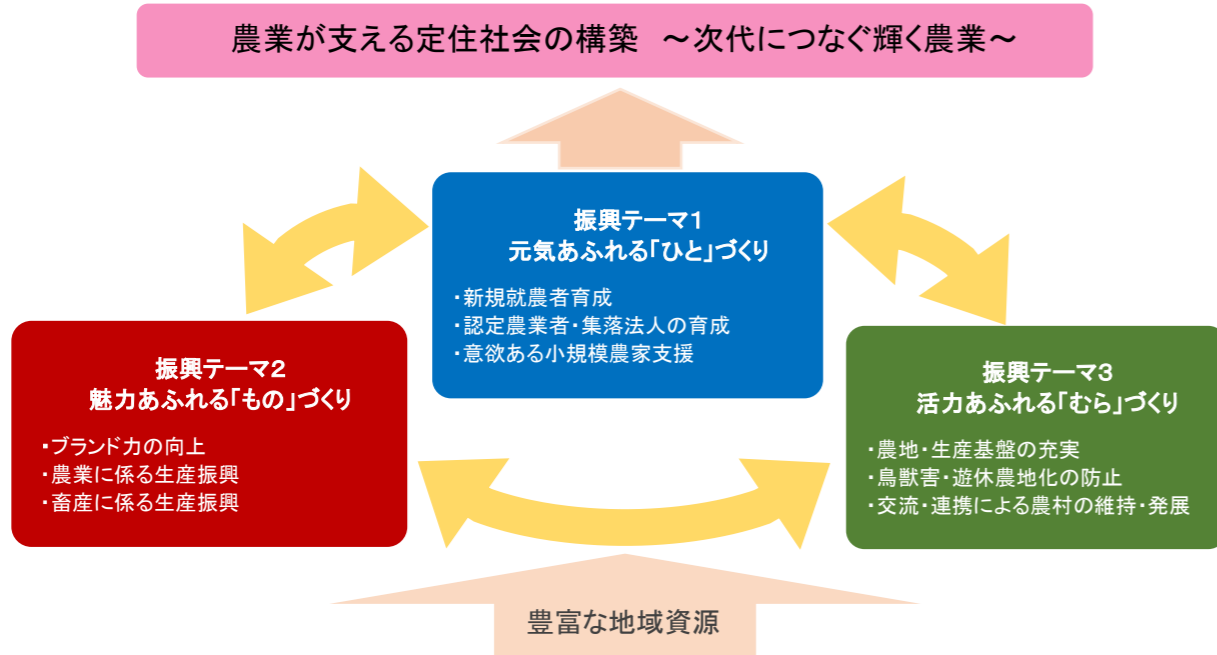
本市の農業は、高齢化と後継者不足が進むなかで、産地の生産力・競争力低下を招き、遊休農地の増加や有害鳥獣による被害、集落機能の低下に不安を抱えながら経営を続けている状況です。

「高齢化・担い手不足」が「生産販売力及び所得低下」を招き「生産・生活環境の悪化」という負の連鎖に歯止めを掛け、持続的な農業を確立するために、あらためて「ひと」「もの」「むら」の3つの視点から農業振興の課題を明確にし、従来の取り組みに加え必要な施策を講じていく必要があります。



### 4 農業振興の基本方針

課題を踏まえ、地域資源を再認識し、めざす姿を「農業が支える定住社会の構築～次代につながる輝く農業～」とし、地域が抱える共通の課題に対して、「ひと」「もの」「むら」の視点から3つの振興テーマを設定し、取り組みを展開することを基本方針とします。



### 5 農業振興施策体系

農業振興の3つのテーマに基づく振興目標を定め、以下のとおり具体的な施策を実施します。

振興テーマ	振興目標	施策内容
元気あふれる「ひと」づくり	1) 新たに農業に携わる「ひと」づくり	(1) 認定新規就農者の段階別育成 情報提供、研修支援、営農計画作成支援、人・農地プランの実質化、担い手間の連携推進 (2) 中高年代からの就農支援 情報提供、研修支援、農地・住居等確保支援 (3) 参入企業の拡大、雇用就農促進 機械・施設整備、栽培技術等支援、独立就農への誘導
	2) 継続的・安定的な経営に取り組む「ひと」づくり	(1) 農業を担う認定農業者等の経営基盤強化 認定農業者への誘導、生産基盤の整備、スマート農業技術導入支援 (2) 集落の農業を支える組織強化 リーダー育成、法人設立支援、組織活動・運営支援、スマート農業による省力化支援
	3) 農業への興味、意欲あふれる「ひと」づくり	(1) 小規模農業者への支援 機械・施設整備、栽培技術支援、産直市連携体制(組織)設置 (2) 市民の農業への理解を深める取り組みの促進 農業体験の場の創出支援(体験・交流イベント、農業ボランティア等支援・情報発信)
魅力あふれる「もの」づくり	1) ブランド力を高める「もの」づくり	(1) ブランド化の推進 エコファーマー認定への誘導支援、JGAP等の導入推進、比婆牛ブランド化の推進 (2) 特色ある農産物の生産 特色ある農産物生産団体等への支援、営農指導 (3) 消費者ニーズの把握と生産体制の強化 需要に応じた農産物の生産、供給体制づくりの推進 (4) 生産から販売まで一体となった取り組みによる販売力の強化 マーケティング、流通販売体制整備、インターネット販売の拡大、6次産業化の推進
	2)-1 農業(水田農業)に係る「もの」づくり	(1) 売れる米づくりの推進 米のブランド力強化に取り組む団体への支援、JGAP等の導入推進 (2) 非主食用米等の生産流通の推進 WCS用稲・飼料用米の生産、流通体制等整備
	2)-2 農業(園芸・果樹作物)に係る「もの」づくり	(1) 園芸・果樹作物生産の産地構造の確立 振興6品目の生産拡大とキャベツ等の生産強化 (2) 地産地消の促進 市内産直市への出荷促進、消費者との交流支援、学校給食等での利用促進
3) 畜産に係る「もの」づくり	(1) 生産基盤の強化 生産基盤整備等の推進、比婆牛素牛の増頭のための酪農家との連携 (2) 耕種農家連携による安定的生産の促進 粗飼料安定確保、家畜排せつ物の堆肥化、和牛放牧等の推進	
活力あふれる「むら」づくり	1) 安心して農業に取り組める「むら」づくり	(1) 農地の効率的な利用促進 担い手への農地集積(人・農地プラン策定と実質化、農地中間管理事業活用等) 条件不利地・遊休農地等の活用、農林振興公社等農作業受託体制整備 (2) 生産基盤整備の充実 ほ場、水路、農道、ため池等の整備 (3) 鳥獣被害防止対策の強化 有害鳥獣捕獲、防護柵設置、鳥獣被害防止対策講習会等開催支援
	2) 交流・連携による豊かな「むら」づくり	(1) 多面的機能の維持・発揮 日本型直接支払制度の取り組み支援、集落共同活動等組織再編 (2) 産直市連携強化の促進 連絡協議会等による連携強化 (3) 農村都市交流イベントの促進 グリーンツーリズム、交流活動等の取り組み促進と情報発信

農業が支える定住社会の構築 ～次代につながる輝く農業～